

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和5年9月13日

和泉市長 あて

団体名 和泉だんじり大連合青年部
代表者名 山口 一彦
所在地 和泉市黒鳥町三丁目4番3号
電話番号 080-1424-5657

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	和泉だんじり祭り継承事業
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	2,105,000 円 (うち、対象経費 1,897,000 円)
支援金 交付申請額	800,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

団体概要調書

フリガナ	イズミダンジリダイレンゴウセイネンブ		
団体名	和泉だんじり大連合青年部		
団体の目的	「各町の親睦を深め、だんじり曳行関係者のみならず、だんじり祭りを観覧される方々も安全に楽しく過ごす事のできる環境をつくり、だんじり祭りという文化を後世に伝える」ことを目的とします。		
市内事務所の所在地	〒594-0022 和泉市黒鳥町三丁目4番3号		
	【専用事務所 ・ (住居と兼用) ・ その他 ()】		
	電 話	080-1424-5657	F A X ()
フリガナ	ヤマグチ カストシ		
代表者氏名	山口 一彦		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名)※		電 話 080-1424-5657
	フリガナ ヤマグチ カストシ		F A X ()
	山口 一彦		(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。
設 立 年 月	平成 16 年 月	主な活動地域	国府・黒鳥・芦部・和気 伯太校区
会報等の発行	有 (回発行) (無)	会員数	1,800 人
メールアドレス	@		
ホームページ	http://		
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・だんじり祭り開催時の観客等の安全対策 ・清掃活動や仮設トイレ、ごみ箱設置による環境美化対策 ・ポスター、パンフレット等の配布によるPR活動 ・社会貢献活動（献血200名、事業実施日当日の招待席の設置） 		
主な活動の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観客の安全確保に係る活動 ・社会貢献活動（献血200名、事業実施日当日の招待席の設置） ・清掃活動や仮設トイレ、ごみ箱設置による環境美化対策 ・ポスター、パンフレット等の配布によるPR活動 		
国・府・市及び 各種団体等から 他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	和泉だんじり祭り継承事業
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの衰退によるだんじり祭りを含むコミュニティ活動の担い手の減少 ・他市からの転入者が増加しており、だんじりに対する理解を深めてもらうことが必要 ・観覧客が年々増加しており、十分な安全対策が必要 ・地域力の向上が求められている社会情勢の下、町会・自治会間の絆をより強化する必要がある 	
②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの醸成 ・地域の活性化 ・伝統文化であるだんじり祭りの継承 	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 毎月1回開催の会議により町会間の連携強化を図ると共に、綿密な安全対策や環境美化対策を検討し実施する。 また、招待席の設置や若者世代を対象とした献血活動、地域で行っている中学校区の通学路の清掃活動等に参加し、市民の理解を得ることに努め、だんじり祭りの継承を図る。 PR等により、だんじり祭りに対する理解を育むことで地域コミュニティの強化を図り、コミュニティ活動担い手の増加に努める。	
②実施期間（日時）	10月第2土曜日、日曜日
③実施場所	和泉府中駅前を中心とした府中町全域
④主な対象者	和泉市民及び市外からの観客
⑤参加予定者数	参加予定者数 祭礼関係者 約 3,600人 観客 約 20,000人
⑥告知方法	ポスター、パンフレットの配布等

5 事業スケジュール	
次期（月） 2月 第1土曜日 2月～毎月 第1土曜日 7月 10月 第2土曜日 日曜日	内容 18 町会長会議 9 月末までに合計 8 回の会議 献血活動 事業実施
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2 審査基準参照 (実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
①公益性	毎年、祭礼 2 日間で 2 万人以上の観客数を誇っており、市民からの期待も高い事業である。見物客等がたくさん集まるため安全対策をしっかり行うとともに、中学校区の通学路の清掃活動への参加や仮設トイレの設置、年に一度、祭礼に参加している若者世代を対象とした献血活動等市民の理解を得ることに努めている。 また、地域力が希薄になりがちなか、本事業を行うことで、地域の絆を強くすることに繋がる。
②継続性	参加している 18 町から青年部会費を徴収し協力しあい運営を行っており、和泉だんじり大連合青年部は設立約 20 年の歴史がある。本事業を実施することで、だんじり祭りの継承をしていくのはもちろんのこと、地域のコミュニティ強化にも繋がっていく。
③実行性	毎年、各町持ち回りによる役員選定を行い、不平の無い組織運営を心掛けると共に年番が主体となり、年間スケジュールや運営予算を決定する。毎月 1 回会議を開催し、町会間の連携強化を図ると共に、綿密な安全対策や環境美化対策を検討し、実施する。
④協働性	事業には町会同士連携して取り組んでおり、祭礼期間だけでなく、年間を通して市民の理解を深めるように「献血活動」「クリーン作戦」「地域の警備」の積極参加に努めています。また、幅広い世代が参加するため、世代間交流や地域コミュニティの強化につながります。
⑤公開性	幅広い年代へのアピール活動として、だんじりポスターの作成、だんじりパンフレットを作成し、配布している。
⑥発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	歴史と伝統を受け継ぐ事業であり、また誰もが安心して参加できるよう、安全対策にもしっかり取り組んでいるため、広い世代の方が参加し楽しむことが出来る事業である。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第7条・第15条関係）

収支予算書

事業の名称： 和泉だんじり祭り継承事業

1. 【収入】 （単位：円）

項目	金額	積算根拠
支援金	800,000 円	和泉市市民活動推進支援金
自主財源	1,305,000 円	団体会計
合計	2,105,000 円	

2. 【支出】 （単位：円）

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	138,300 円	献血の参加賞（タオル：461 円×300 枚）
消耗品費	161,700 円	ブルーシート、ごみ箱等
食糧費（対象外）	100,000 円	会議賄等
印刷製本費	522,000 円	ポスター2,200 部（A1 カラー片面） 観覧席招待券
印刷製本費（対象外）	20,000 円	会議資料印刷費
役務費	25,000 円	仮設トイレ汲み取り費、振込手数料
委託料	500,000 円	招待席設置撤去、ごみ収集運搬、警備
賃借料	550,000 円	AED、仮設トイレ及び GPS レンタル料
賃借料（対象外）	88,000 円	会議室使用料
合計	2,105,000 円	
対象経費	1,897,000 円	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書 追加資料

1 団体名	和泉だんじり大連合青年部
2 事業名	和泉だんじり祭り継承事業
3 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
4	令和 5 年度事業における反省点・課題・問題点とそれをどのように改善するかについて記入してください。 園児に観覧席の招待券（ヨーヨー釣り無料券付）を配布し、ヨーヨー釣りにはたくさんの園児が来たが観覧席には予想以上の空席があった。観覧席がどこにあるかわかりにくいと言った声を聞いたので今後は案内板等を設置し利用しやすいように考えていきたい。また、今までは高齢者、令和5年度は園児に招待券を配布していたが今後は両方を対象に考えていきたい。観客が増加すれば比例してゴミも増えると予想されるのでゴミ箱設置等美化活動も今まで以上に考えて行きたいと思う。
5	令和6年度事業において以下のことについて記入してください。 ・新たに取組む事項 ・令和5年度事業と比較し発展・拡大が見込める事項 ・その他支援金を受けることで事業計画・予算・地域や市民に与える効果等に変化がある事項 等 令和 6 年度は事業内容に記載していないが子供が遊べるような出店エリアをつくれないうかが検討している。また、令和 5 年度より始めた出店エリアの店舗数を増やし集客につなげたい。観覧に来ている大人や子供たちが翌年祭礼に参加してくれることが目標である。現在、支援金を受けることで事業が実施出来きている状況であり地域の負担も少なく維持できている。この支援金がなくなれば事業の縮小や廃止がやむを得ない状態になり地域への負担が増えてしまうため与える影響は大きいと思う。参加者数の増加や事業の活性化を考え支援金を有効活用するため、今後は消耗品等の費用の削減に努め新たな取組みの費用に当てていきたいと考える。

※本資料に記載いただいた内容を含め審査を行います。